

The First Workshop on Transport Logistics

第1回 GCOE,KU-CMS,NUS 共同研究センター交通ロジスティクスに関するワークショップ会議

- ・ 代表者: Ting-Fang FWA 教授(シンガポール国立大学土木工学科), 谷口栄一教授(京都大学大学院工学研究科)
- ・ 日時: 2008年11月10日(月)
- ・ 場所: Centre for Maritime Studies, National University of Singapore Conference room
- ・ 主催: GCOE,KU-CMS,NUS 交通ロジスティクス共同研究センター
- ・ 主な参加者: 山田准教授, 安東助教, 塩見助教, SCHREINERS 研究員, QURESHI 研究員(京都大学大学院工学研究科), SZETO 助教, MENG 助教, WONG 研究員, XU 研究員(シンガポール国立大学), THOMPSON 講師(メルボルン大学)他学生を含め計 31 名
- ・ ワークショップの目的概要: シンガポール国立大学海事研究センターとの交通ロジスティクス共同研究センター設立にあたり, 双方の研究者がどのような貢献が可能であるかについて議論する。GCOE の人間安全保障工学に関する研究教育に大いに貢献するため, このようなワークショップを開催し, アジア・メガシティにおける安心・安全・健康のための都市交通・シティロジスティクスに関する研究を推進する。
- ・ プログラム(タイムスケジュール, 講演者の名前, 講演タイトル含む, 別途ファイル可)
別添ファイル 1 参照

・シンポジウムの様子, 得られた成果

ワークショップではシンガポール国立大学海事研究センターと京都大学 GCOE が交通ロジスティクス共同研究センターを共同で設立し, アジア・メガシティにおける安心・安全・健康のための都市交通・シティロジスティクスに関する研究を推進していくことが Ting-Fang FWA 教授(シンガポール国立大学土木工学科)と谷口栄一教授(京都大学大学院工学研究科)により宣言された。引き続き両大学から共同研究センターにおいて進める研究課題について, 講演発表が行われ, 約 30 名の聴衆から活発な意見交換がなされた。講演内容は, 危険物輸送・インターモーダル輸送・海賊対策・都市内混合交通と多岐に渡り, 現在の最先端の研究紹介がなされた。最後に京都大学 GCOE の谷口栄一教授とシンガポール国立大学海事研究センター長の Tan 教授が交通ロジスティクス共同研究センター設立に関する覚え書きの交換を行った。最後に, シンガポール大主催によるバンケットが学内のレストランで開かれ, 双方の関係者が交流を深めた。